

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月24日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鐵道(株) いすみ循環-1	市役所大原庁舎～長者町駅～ いすみ医療センター～市役所 大原庁舎	前回の評価、令和2年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員の助言として、更なる利用促進に取り組まれるとともに、市民にとって利用しやすい公共交通となることを期待するとの指摘をいただき、令和2年10月より土曜日運行を開始し、また、高校生の通学時間帯の利用促進を図り、運行計画の変更及び高校生利用料金の改定を協議している	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。	A 補助対象期間(令和2年10月から令和3年9月)の利用目標24,000人のところ、実績は27,022人(うち75歳以上無料パスポート使用者が11,197人)という結果となった。	感染予防対策を十分に行ったうえで、高齢者の利用促進を引き続き行っていくと同時に、収支率を回復させるためにも若年層(高校生の通学など)の利用促進を図っていくことが必要。
小湊鐵道(株) いすみ循環-2	市役所大原庁舎～長者町駅～ 房信夷隅町支店前		A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。	A コロナ禍ではあったが年配者の外出が増え、75歳以上無料パスポートの利用者数が前年度に比べて1,340人増加している。	
小湊鐵道(株) いすみ循環-3	市役所夷隅庁舎前～下布施～ 市役所大原庁舎		A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。	A	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月24日

協議会名:	いすみ市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>バス交通に関しては、交通空白地帯の解消と交通弱者対策に対応するため、JRやいすみ鉄道など民間交通機関との接続の配慮など利便性の向上を図りながら運行を継続してきているところであるが、運行には多額の経費を要しており、路線の維持存続は課題となっている。</p> <p>今後も市民が将来にわたって安心して暮らせる生活環境の確立と、地域経済力の向上に資することを目的に、地域公共交通確保維持改善事業を活用することにより、今後も行政負担を軽減しつつ、継続的なバス運行の維持・確保を図っていく必要がある。</p>